

## 徳島県立二十一世紀館協議会 会議録

1 日 時 平成29年12月21日(木) 15:00 ~ 16:20

2 場 所 二十一世紀館会議室

3 出席者

【委員】 10名中7名出席

上島 秀幸委員, 郡 美都委員, 小島 信子委員, 筒井 義典委員  
内藤 順子委員, 西川 敬子委員, 山下 徹委員

【二十一世紀館】

館長ほか, 館員7名

4 会議次第

(1) 開 会

(2) 二十一世紀館事務局挨拶

(3) 会長・副会長の選任

会長 小島委員 副会長 佐野委員

(4) 議 題

- ①平成28年度事業実績について
- ②平成29年度事業計画について
- ③「新生・野外劇場」について
- ④その他

(5) 閉 会

## 5 会議概要

### 議題① 平成28年度事業実績について

事務局 (資料に基づき説明)

委員 施設貸与について、貸し館だけでなく自主事業を含めた合計の施設利用件数を教えて欲しい。

事務局 自主事業を含めると840件となっている。

### 議題② 平成29年度事業計画について

事務局 (資料に基づき説明)

委員 既に終わった事業もあり、この時期にこれらの事業が県民に資するものであるのかを検討をする必要性はあるのか。

事務局 様々なご意見をいただき、平成30年度の事業に反映していきたいと考えている。

### 議題③ 「新生・野外劇場」について

事務局 (オープニングセレモニー、こけら落とし公演及び今後の活用について説明)

委員 悪天候の際の中止の判断は何か基準を設けているのか。主催者の判断に任せるのか。

事務局 基本は、主催者の責任において判断していただく。

屋根は、客席より外に張り出しており、壁も1.2～1.3メートル程度あるので風にも対応している。通常の雨であれば大丈夫だが、台風まででなくとも雨風がきつい場合は、状況に応じて総合的に判断し、アドバイスはしたいと考えている。

委員 屋根ができることで幅広く使えるようになるが、気候を考えると最適な時期は5～6月、10～11月あたりまで。暑さ寒さ対策の配慮をしていただきたい。

委員 雨天の時のために今まではイベントホールと組み合わせて借りていただいていたが。

事務局 天候の心配もあり、利用者が少なかった面もある。今後は、専用楽屋もあるので雨天時を心配せずに安心してお借りいただける。

夏は、夜間の涼しい時間帯での利用等、いろんな時間で利用していただける。年間を通し、快適に使っていただけるよう配慮したい。

委 員 できるだけ早い時期に条件・状況を広報していただきたい。

#### 議題④ その他

委 員 貸し館利用者については、新規利用者も一定数いるのか。

事務局 毎年、同時期に借りていただく方もいるが、新規の方も一定数いる。

野外劇場については、新規の方に利用していただけるようPRに努め利用回数をさらに増やしていきたいと考えている。

委 員 野外について、飲食スペースは設けるのか。

事務局 基本的に飲食は禁止しているが、遠足の場合などは、雨天時には屋根のあるところで食べていただいている。

委 員 野外劇場のイベント関連で、飲食ブースを構えたいといった要望があった場合はどうか。

事務局 保健所への届出も必要であり、危険も伴うので基本的には禁止と考えている。

委 員 来年は、第九アジア初演100周年の年となるので、いろいろな場所で関連行事が開催される。そういった催しにも活用していただきたい。

事務局 近畿高文祭の発表の場としても活用したいと考えている。

委 員 子どもが参加する催し物には、保護者の方にも来ていただける。多くの方に来館していただくためには、そういったイベントを企画すると良いのではないか。

事務局 野外劇場は、9:30～17:00まで借りていただいても15,000円程度でリーズナブルである。駐車料金も不要というメリットもある。屋根ができることで、真夏の日差しを遮ることはできるので、随分使いやすくなると思う。

委 員 楽屋ができるということだが、どれくらいの人数が利用できるのか。

事務局 イベントホールの入り口の一部を改造して野外劇場の専用楽屋にする予定であり、広さ的にはそう大きなものではないが、今までは楽屋が必要であればイベントホールと一緒に借りていただきその楽屋を使用していただいていた。今後は、必ずしもイベントホールと一緒に借りていただく必要はなくなる。

委 員 中学生の吹奏楽が入れるくらいの広さがあるのか。

事務局 人数にもよると思うが、楽屋に入りきれない場合は、イベントホールの楽屋を利用していただくようになる。今は、楽屋だけをお貸しするということはしていないが、できるだけ柔軟に対応したい。

委 員 昼公演、夜公演がある場合、その間待つ場所がない。食事をする場所の提供ができないか。屋内でなくてもいいので、屋外でも夏の間だけでも子ども連れで多くの人が来園するときに何かできないか。

委 員 上野の国立なんかでもやっている。ホットドックの車を入れて、椅子を並べてやっている。

委 員 転勤で徳島に来たが、二十一世紀館についてホテルのどこに行っても情報が無い。徳島駅に何か広報したものがあるのか。また、学校現場には何かリリースしているのか。

事務局 市バスの乗り場に広告を掲示し、2ヶ月に1回更新している。また、県内の小・中学校、高等学校には、イベント毎にチラシを配付している。

委 員 広報の仕方については、課題となっている。「文化の森に憑依する滝」についても知らない学生もいる。

委 員 テレビで、自然を利用したチームラボの展示を見たが、LEDアートを自然の中で活用できたらもっと良くなるのではないか。

事務局 参考にさせていただく。

委 員 広報誌を参考にイベントを見に来ているが、来園者が多く駐車場に車が止められないことがある。何か駐車場対策はしているのか。

事務局 河川敷の駐車場を案内している。イベントの際は、職員は河川敷に止めるようにして、100台程度は空けるようにしているが、今後も有効に活用できる

よう考えていきたい。

委員

今はInstagramでの情報発信が効果的であるため、写真を撮りたくなるようなものを複数用意しておけば口コミで広がっていく。例えば、現役のInstagramマーに案を出してもらうとか。お金をかけずに面白い化学反応が起こるのではないか。

事務局

「インスタ映え」するものを考えたい。大学生等の若い世代の来館者が少ないため、各世代に対応していけるよう参考にさせていただきたい。